

ふく でん じ ほん どう
福田寺本堂

●所在地／上吾川 福田寺 ●所有者／福田寺

本堂は入母屋造、本瓦葺で、妻飾は狐格子とする。基本的には6間取平面になり、正面に広縁を設ける。組物や彫刻を用いないが、内陣仏壇の構えや、室中と両脇間の境に設けた竹の節欄間など、方丈形式のつくりになっている。建築年代は天明元年（1781）とされ、今でも当時の姿をよく残している。

福田寺は臨済宗妙心寺派の禅宗寺院で、寛文7年（1667）、上吾川市ノ坪にあった古寺を法雲律師らがこの地に移し、大洲如法寺の開祖・盤珪禅師を迎え福田寺開祖とした。また、二代大洲藩主加藤泰興が山林・田地を寄進するなど、大洲藩加藤家の祈願所として藩の加護を受けていた。

